

外国人から見た日本史—鎌倉幕府の成立を巡って—

佐々木 隆

プロローグ

教育と時代の流れは密接な関係にある。大学の教職課程を担当していると、自分が学生時代に習ったことと現在の教育内容が異なっていることに驚きを覚えることは少なくない。1987年～1991年の間に兼任講師として明治学院大学の英語の授業を担当した際、Edwin O. Reischauer. *The Japanese* (1977)を講読した。その際、本文や巻末の年表に鎌倉時代が1185年に始まったと記載されていた。筆者はそれまで1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開き、鎌倉時代が始まったと思っていたが、海外の理解は少し異なるのかと思った程度だった。ところが、2008年以降、日本の中学校の歴史の教科書でも同じような現象が起きてきた。20年以上前の何気ない疑問がここに来て急に無視できなくなってきた。ここでは海外の日本の歴史理解、特に鎌倉幕府成立についてどのような記述をしているのか、その一端に注目して見たい。

1 鎌倉幕府成立の諸説

鎌倉幕府成立の学説を紹介するのではなく、教育との関係を見ることから、一般にはどう紹介されているのか、どのように記述されているのかをまず確認しておきたい。「鎌倉幕府」の説明として一般的なものとして新村出編『広辞苑』（第4版）（1991）は以下の通りである。

1185年（文治1）源頼朝が東国の実質的な支配を拠り所として朝廷の公認を受け鎌倉に開いた日本最初の武家政権。源氏将軍は三代で絶え、その後北条氏が権を握ったが、1333年（元弘3）滅ぶ。⁽¹⁾

次に『広辞苑』（第6版）（2008）も見ておきたい。

鎌倉に開いた日本最初の武家政権。始期については1183年（寿永2）、85年（文治1）など諸説がある。源氏将軍は3代で絶え、その後北条氏が政権を握ったが、1333年（元弘3）滅ぶ。⁽²⁾

1192年に征夷大將軍となり、鎌倉幕府を開いたという記述は含まれていな

3 世界からみた鎌倉幕府成立の記述

プロローグでも紹介したが、Edwin O. Reischauer. *The Japanese* (1977)の鎌倉幕府成立の説明を見ておきたい。ここでは國弘正雄訳(1979)で紹介する。

、、源頼朝は、戦いに敗れた源家のリーダーとして関東地方で反旗をひるがえし、やがて1185年までには平氏一門を一掃、日本の軍事的支配者となった。

彼は京都の朝廷で、高位の文官の椅子に座るかわりに関東のの鎌倉に本拠を定め、天皇の軍隊の最高司令官を見する「征夷大將軍」の称号のみをとった。⁽⁷⁾

エドウィン・オールドファザー・ライシャワー(Edwin Oldfather Reischauer, 1910-1990)は、駐日アメリカ大使も務めた日本研究の第一人者であることは有名である。彼の著書 *Japan: Past and Present* (1964, the third edition)の“Chapter V THE DEVELOPMENT OF A FEUDAL SOCIETY”では鎌倉幕府あるいは鎌倉時代については以下のような記述がある。

Eventually the Minamoto felt themselves strong enough again to challenge Taira supremacy, and in a bitterly fought war between 1180 and 1185 they completely crushed the Taira faction ….

Minamoto Yoritomo, the leader of the triumphant Minamoto faction, profiting from the mistakes of the Taira, left Kyoto and the court alone and settled down at the small seaside town of Kamakura, near the estates of his relatives and his partisans in the Kanto region of eastern Japan. ⁽⁸⁾

“Chapter VI GROWTH AND CHANGE IN THE FEUDAL SYSTEM”
には以下のような記述はあるが、1192年という年には触れていない。

Scattered as they now were through the estates of the whole land, the descendants of the old band of knights from the Kanto region,

い。『日本国語大辞典』（第2版）（第3巻、2001）では次のように説明されている。

源頼朝が鎌倉に開いた初の武家政権。建久3年（1192）頼朝が征夷大將軍に任ぜられた時をその始めとする説が流布しているが、現在これを採る研究者はほとんどいない。文治元年（1185）説（守護・地頭の設置）が有力。その他治承4年（1180）説（頼朝の鎌倉入り）、寿永2年（1183）説（頼朝東国行政権公認）などがある。鎌倉に侍所（さむらいどころ）・公文所（くもんじょ＝のち政所に改称）・問注所、地方には全国的に守護・地頭をいたほか、六波羅探題・鎮西探題・奥州総奉行などがあった。源氏將軍は3代で絶え、のちには執権北条氏が実権を握った。正慶2年（元弘3年＝1333）滅亡。⁽³⁾

林陸朗他編『日本史総合辞典』（1991）の「鎌倉幕府の成立」では1183年説、1185年説、1192年説を取り上げ、1183年説と1185年説が有力であると説明している。⁽⁴⁾

詳細な学説の分析をここでは取り扱わないが、大きな視点から見れば、形式と実態（実質）ということに集約されそうだ。征夷大將軍に任ぜられたことを重視するのか、それとも政治体制としての組織が整ったかを優先させるのかと言ったことになろう。

2 2008年の報道とその後

教育と教科書の関係は切っても切れない関係にある。初等中等教育においては検定教科書は教授内容に反映されるだけに無視できない。2008年には鎌倉幕府成立に関する記述について1192年説から1185年説への移行が見受けられる。⁽⁵⁾教科書出版会社もホームページ等でその内容を公表している。⁽⁶⁾各社いろいろな表記があるが、1185年に守護・地頭を設け政治体制を整え、1192年に頼朝が征夷大將軍に任じられたとする表記が多くみられるようになった。1185年に実質的には政治体制を整え、征夷大將軍に任じられたことで名実ともに鎌倉幕府が成立したとし、1185年段階での体制を高く評価する内容となっている。ここ数年、TV教養番組でも今の教科書内容が以前とかなり異なっていることが紹介されることがよくある。こうした内容をまとめたものとして山本博文『こんなに変わった歴史教科書』（2008）があり、鎌倉幕府成立についても記載がある。

who had won control of Japan in 1185, felt less and less the oneness of spirit of the original clique or the old sense of personal loyalty to Kamakura. ⁽⁹⁾

一部抜粋するが巻末の“Chronology”を見てみたい。

710-84 NARA PERIOD

784 Move of the capital to Nagaoka

794 Founding of Heian Capital (Kyoto)

794-1185 HEIAN PERIOD

866- 1160 FUJIWARA PERIOD

1160-85 TAIRA PERIOD

1185-1333 KAMAKURA PERIOD

1185 Establishment of Shugo (Constable) and Jito (Steward) System by Minamoto Yoritomo (eleventh month)

1189 Execution in northern Honshu by Fujiwara Yasuhira of Minamoto Yoshitsune on orders of his brother Yoritomo; destruction of Yasuhira by Yoritomo.

1192 Assumption of title of Shogun by Yoritomo. ⁽¹⁰⁾

また、*Japan: The Story of a Nation* (1981, the third edition)の“4 THE DEVELOPMENT OF A FEUDAL SOCIETY”では次のような記述となっている。

The imperial court then appealed to Yoritomo to restore order. His younger brother, Yoshitsune, quickly seized Kyoto and then, after a pause, drove the Taira westward, annihilating them early in 1185 in a naval battle at Danno-ura at the western extremity of the Inland Sea. All the remaining military bands of western Japan quickly bowed to Minamoto supremacy ...

... He eschewed high posts in the imperial government, and by taking for himself in 1192 the title of *shogun*, an old term for commanders in wars against the Ainu in the north, implied that he was merely the general of the central government's army. ⁽¹¹⁾

巻末の“Chronology”は *Japan: Past and Present* (1964, the third edition)と変わらない。さらに、ライシャワーが監修した *Japan: An Illustrated Encyclopedia* (1993)には“Kamakura period”と“Kamakura bakufu”の項目がある。“Kamakura period”の冒頭の説明は次の通りである。

(1185-1333; *Kamakura jidai*). The Kamakura period corresponds roughly to the span of the KAMAKURA SHOGUNATE (1192-1333) is named after the city of Kamakura (located in what is now Kanagawa Prefecture), the seat of the government. ⁽¹²⁾

“Kamakura bakufu”については以下の通りである。

(1192-1333; *Kamakura bakufu*). Japan's first military or warrior government; established by MINAMOTO NO YORITOMO in Kamakura. Although many scholars date the beginning of the shogunate from 1192, when Yoritomo was given the title of SHŌGUN, the bakufu itself, the warrior governmental organization, had been set up in 1180, and the system of appointed military governors (SHUGO) and land stewards (JITŌ) by which it controlled the country began in 1185. ⁽¹³⁾

少なくともライシャワーの認識では 1192 年の征夷大將軍に任じられたことを以て鎌倉幕府が成立したというよりは政治体制として守護・地頭が設置された 1185 年を重視していることははっきりしている。そのために、時代区分では鎌倉時代を 1185 年～1333 年としていることからわかる。インターネット上の事典、“New World Encyclopedia”から“Bakufu”と“Kamakura shogunate”を見ておきたい。まず、“Bakufu”は以下の通りである。

In 1185, Minamonoto no Yoritomo unified a large area of Japan and established himself as the first shogun of the first bakufu, the Kamakura shogunate. He received the title *sei-i taishōgun*, which was

passed on to the leaders of three successive bakufu. The Emperor and his court continued to rule as figureheads, while the shoguns maintained political control of the nation. ⁽¹⁴⁾

次に“Kamakura shogunate”を見てみたい。

The Kamakura shogunate (Japanese, *Kamakura bakufu* 鎌倉幕府) was a feudal samurai government from 1185 (or 1192, When it was formally recognized) to 1333. ⁽¹⁵⁾

さらに“Establishment of the Shogunate”の説明も見ておきたい。

However, after defeating the Taira clan in the Battle of Dannoura which ended the Genpei War in his favor, Minamoto no Yoritomo seized power in 1185 and became the de facto ruler of the country. He asserted the primacy of the military side of the government and was given the title of shogun (征夷大將軍) in 1192 while the system of government he established became formalized as the *bakufu* (literally, ten-government). ⁽¹⁶⁾

他のインターネット上のものも例として2つ取り上げておきたい。

「和-pedia」の“Kamakura Period 鎌倉時代”には以下のように記載されている。

The Kamakura period 1185 to 1333 is a period of Japanese history that marks the governance of the Kamakura Shogunate; officially established in 1192 by the first Kamakura shogun Minamoto no Yoritomo. ⁽¹⁷⁾

また、“The Virtual Museum of Japanese Arts”の“Kamakura Period (1185-1333)”では以下の通りである。

The Taira family, a warrior family that had come to dominate the imperial court in the late Heian period, was overthrown by the

Minamoto family. Minamoto no Yoritomo was given the title of shogun by the court, and he set up a military-style government at Kamakura - the Kamakura Shogunate - ushering in a period of de facto rule by members of the warrior class. ⁽¹⁸⁾

最近のものでは Sandra Buckley, editor. *Encyclopedia of Contemporary Japanese Culture* (2009) では “Kamakura period” については項目箇所によっては 1185-333, 1192-1393 と記述している事例もある。これは項目により執筆者が異なっており、事典全体で統一はされていない。⁽¹⁹⁾ 外国人による鎌倉時代あるいは鎌倉幕府については 1185 年については必ず言及されるのに対して、1192 年についてはその年代よりも征夷大將軍に任じられたことということを伝える内容が主としているようだ。

4 高等学校教科書『日本史』の記述

ここではすべての山川出版社発行の教科書を事例として平成 23 年度と平成 24 年度教科書の鎌倉幕府成立に関する記述を取り上げることにしたい。

大津透他『新日本史』(改訂版) (2009) は 2007 年 3 月 22 日に文部科学省検定済のものでは、一連の記述について抜粋して紹介紹介しておきたい。

、、前後して、義経軍らは一の谷・屋島と平氏を追い、1185 (文治元) 年に壇の浦で平氏を滅ぼした。、、、さらに 1189 (文治 5) 年、頼朝は大軍を率いて奥州藤原氏を滅ぼし、以後、頼朝は武家の棟梁としての地位を揺るぎないものにした。

これにより前の 1185 (文治元) 年、頼朝は後白河法皇に要求して、法皇が義経に与えた頼朝追討令を撤回させるとともに、守護・地頭の設置、兵糧米の徴収権、諸国国衙の在庁官人に対する命令権を認めさせた。、、、

源頼朝は、奥州を支配下に収めた翌年、京都にのぼり朝廷の官職に就いた。後白河法皇の死後の 1192 (建久 3) 年 7 月には、関白九条兼実の尽力で、頼朝は東国の支配権を象徴する官職として、念願の征夷大將軍に任じられた。この頼朝に始まる武家政権を鎌倉幕府とよんでいる。

(20)

石井進他『高校日本史』(改訂版) (2011) は 2007 年 3 月 22 日に文部科

学省検定済のものでは以下の通りである。一部抜粋で紹介したい。

…、すでに鎌倉に本拠をかまえていた頼朝は、弟の義経らを都へ向かわせて義仲を討ち、ついで平氏と戦った。こうして1185（文治元）年、平氏は長門の壇の浦でほろぼされた。

…、1189年（文治5）年に、頼朝は追討の命令を待たず、大軍をもって奥州藤原氏をほろぼした。ここに全国を平定し、その後、法皇死後の1192（建久3）年に頼朝は念願の征夷大將軍に任じられた。

頼朝のねらいは、東国に武家政権をうちたてることにあった。頼朝は平氏と戦いながら、侍所・公文所（のち政所と改称）・問注所など、貴族の家政機関にならって支配のしくみをととのえた。1185（文治元）年の平氏滅亡後には、逃亡中の義経をさがし出すことの口実に、朝廷に迫って、諸国に守護・地頭を任命する権利を得た。⁽²¹⁾

石井進他『高校日本史』（改訂版）（2011）の記述にもあるように、平氏との戦いながら、1180年に侍所の設置、1184年に問注所の設置、1191年に公文所（のち、政所）の設置があり、1192年に征夷大將軍に任じられることになる。参考までに井上光貞他『詳説日本史（新版）』（1976）の記述も紹介しておきたい。

1185（文治1）年、平氏がほろんで頼朝の勢力が強大となることをおそれた後白河法皇は、義経に命じて頼朝を討たせようとしたが失敗した。頼朝は逆に法皇に義経追討の命をださせ、これを機会に朝廷に迫って諸国の守護・地頭を任命する権利と、兵糧米を徴収する権利、さらに国衛の現地の実権をにぎる在庁官人を支配する権利を承認させた。こうした軍事政権としての幕府の支配機構の骨組みが成立した。

…（省略）

頼朝は上京して右近衛大将に任ぜられ、1192（建久3）年、後白河法皇の死後には、ついに念願であった征夷大將軍に任命され、ここに鎌倉幕府は名実ともに確立した。⁽²²⁾

エピローグ

能狂言・歌舞伎の最大の特徴は形式美あるいは様式美である。外国人から

見て日本人が儀礼的、儀式を重んじている、別の言い方をすれば形式主義であることはよく指摘されるところである。鎌倉幕府の成立を見ても、ライシャワーに代表される日本研究者は早い時期から鎌倉幕府よりも鎌倉時代を1185年～1333年と認識し、征夷大將軍に任じられたのが1192年であったという解釈になる。少なくとも征夷大將軍に任じられた＝鎌倉幕府の成立＝鎌倉時代の開始ではないということだ。これは実質的な面を重く見る西洋人の捉え方ということになるのだろうか。ちなみにライシャワーによる時代区分では徳川時代は1600年～1867年であり、1603年に“*assumption of the title of shogun by Ieyasu*”とある。

時代開始と征夷大將軍に任じられた年が一致しなくても、支配体制の流れ中での一事象ととられているようだ。外国の日本研究者が書いた日本史で日本の歴史を新ためて振り返ることになるとは複雑な気持ちもある。また、日本では終戦記念日を8月15日としているが、国によっては記念日の名称が異なっている場合もあれば、別のとらえ方として9月2日、9月3日としているところもあることは周知の通りである。

20年以上前の疑問が教科書の記述の変化に伴い、海外の日本研究者の視点の鋭さにあらためて気付かされた思いがある。歴史的事実は新しい発見があれば変わってくるのは当然であるが、事実に基づき捉え方自体も変化し、検定教科書の記載も変化してくる。教科は異なるが教職課程で講義を担当する教員としては身の引き締まる思いがする。「外国人から見た～」は日本人の固定観念に捉われない新しい視点が含まれていることがある。「世界から見た日本」という視点は日本を多面的にとらえる一つの方法となるのではないだろうか。

注

- (1) 新村出編『広辞苑』（第4版）（岩波書店、1991年11月）、pp.527-528
- (2) 新村出編『広辞苑』（第6版）（岩波書店、2008年1月）、p.578.
- (3) 日本国語大辞典第2版編集委員会・小学館国語辞典編集部編『日本国語大辞典』（第2版）（第3巻、小学館、2001年3月）、p.958.
- (4) 林陸朗他編『日本史総合辞典』（東京書籍、1991年11月）、p.252.
- (5) 「中学校の歴史 1192は違うの？鎌倉幕府成立」

（<http://www.asahi.com/edu/student/kyoukashow/>

- TKY200802270241.html) (2012年2月5日アクセス)
- (6) 「鎌倉幕府の成立」
 (http://www.nichibun-g.co.jp/download/c-shakai/h18/honbun/h18rekishi/rk3_0_1.html) (2012年2月5日アクセス)
 「平成18年度用 中学社会 改訂版新しい歴史教科書」
 (<http://www.fusosha.co.jp/kyokasho/rekishi2.html>) (2012年2月5日アクセス)
- (7) ライシャワー／國弘正雄訳『ザ・ジャパニーズ』(文藝春秋、1979年9月)、p.63.
- (8) Edwin O. Reischauer. *Japan: Past and Present* (Charles E. Tuttle Company, 1964, the third edition), p.49.
- (9) Ibid., p.62.
- (10) Ibid., pp.298-301.
- (11) Edwin O. Reischauer. *Japan: The Story of a Nation* (Charles E. Tuttle Company, 1981), p.46.
- (12) ライシャワー他監修『カラーペディア 英文日本大事典』(講談社、1993年11月)、p.720.
- (13) Ibid., p.724.
- (14) “Bakufu”
 (<http://www.newworldencyclopedia.org/entry/Bakufu>) (2012年2月5日アクセス)
- (15) “Kamakura shogunate”
 ([http://www.newworldencyclopedia.org/entry/Kamakura shogunate](http://www.newworldencyclopedia.org/entry/Kamakura_shogunate)) (2012年2月5日アクセス)
- (16) Ditto.
- (17) “Kamakura Period 鎌倉時代”
 (http://www.wa-pedia.com/history/kamakura_period_era_shtml)
 (2012年2月1日アクセス)
- (18) “Kamakura Period (1185-1333)”
 (<http://web-japan.org/museum/historyofjp/histjp.html>) (2012年2月1日アクセス)
- (19) Sandra Buckley, editor. *Encyclopedia of Contemporary Japanese Culture* (Routledge, 2009), p.50, p.163.

* 1192-1393 の記述については、1393 年の根拠が不明。1333 年の誤植の可能性もある。

- (20) 大津透他『新日本史』（改訂版、山川出版社、2009年3月）、pp.98-99.
- (21) 石井進他『高校日本史』（改訂版、山川出版社、2011年3月）、pp.72-73.
- (22) 井上光貞他『詳説日本史（新版）』（山川出版社、1976年3月）、pp.88-90

*本稿執筆に際しては高等学校で使用する日本史の教科書すべてを取り上げることはできなかった。別の機会に見直しが必要になった折りにはもっと多くの事例を紹介したい。また、かつての同僚で現在は東京都立杉並高等学校の遠山久也教諭に鎌倉幕府の捉え方、高等学校での実際の授業での取り扱い方などについて情報提供していただいたことを紙面を借りて感謝申し上げます。

*引用については漢数字を一部算用数字にあらためて表記した。